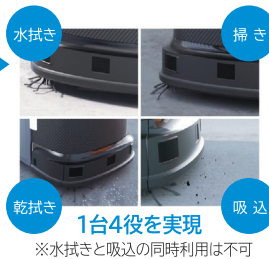


業務用清掃ロボット

フローリングからカーペット、大理石まで
さまざまな床面の清掃に対応。

4つの床面清掃モードを搭載しており、壁際0cmまで清掃可能。タッチスクリーンとモバイルアプリを利用して、簡単にマッピングとマップ編集ができる。アプリでタスクを設定するとスケジュールされた時間に自動的に掃除を開始。リモートでの起動や一時停止、終了などスマートフォンでロボットの動きを制御することもできる。



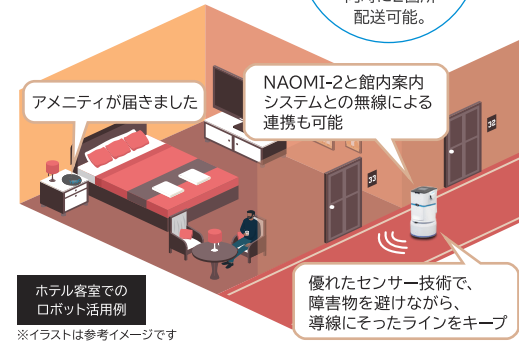
KIRARA



配送ロボット

ホテルなどでの
アメニティ貸し出しで大活躍。

ロック機能が付いた自動開閉引き出し式ボックスを上下2段に搭載。ホテルでのアメニティの運搬に活用されるケースが多く、某ホテルでも導入されている。ロボットの背面にはサイネージディスプレイが備わっており、物品を運搬しながら施設案内や宣伝を行うこともできる。



NAOMI-2



配膳ロボット

レストランなどで料理の運搬に大活躍。
全面カバーで衛生面も確保。

最大荷重50kgの大容量ボックスを装備した配膳ロボット。一度に5ヶ所まで配膳先を設定することができ、帰路に下膳作業を行うこともできる。四方を取り囲んでいるプラスチックはスモークがかかったような素材であるため、下膳の食べ残しや汚れたお皿などが外から見えずらいように配慮している。ゴルフ場のレストランなどに導入されており、人手不足の解消や業務の効率化に役立っている。



AYUMI



ロボットは 人手不足解消の切り札？ になり得るのか？

縦方向の移動を可能にし
活躍の場を広げる
最新ロボット事情に迫る！



少子高齢化によって人材不足が深刻化するなか、あらゆる業界で新たな働き手となるロボットへの関心が高まっている。日本国内の労働力人口は少子高齢化によって減少の一面をたどっており、当り前のようにロボットを雇用する時代が訪れつつあるようだ。

通信建設会社として通信インフラやDX推進を手掛ける株式会社ミライト・ワンも、人材不足解消のためのロボット事業に力を入れている会社のひとつである。そして今、同社が提供するロボットに多方向から注目が集まっている。注目を集めている最大の理由はエレベーターとロボットの連携である。従来のロボットは基本的に平面しか移動できず、活躍の場が限られていた。しかし同社が提供するロボットはエレベーターとの連携によって、縦軸でも移動することができるようだ。つまりロボットが自分でエレベーターを呼び、違うフロアへと移動して仕事をしてくれるのである。

もちろんエレベーター連携ロボット自体が、今までまったく存在しなかったわけではない。エレベーター連携をうたっているロボットは他にもあるが、それらはクラウドと連携している新型エレベーターや特定メーカーのエレベーターでしか使用することができず、容易に導入できるものではなかった。だが、同社のエレベーター連携には決定的な違いがあり、クラウド連携していない既存のエレベーターでも通信機能付きアダプタとモジュールを設置することでロボットと連携させることができるのである。極端にサイズが小さいなど、一部対応できない機種もあるが、旧型のエレベーターを含め国内主要メーカーのほぼすべてのエレベーターに対応している。なお、アダプタ等を設置するために要する作業時間はわずか半日程度。エレベーターを改造する必要もなく、短期間かつ低コストでエレベーター連携を実現しているのである。

同社のエレベーター連携ロボットには水拭き・からびき・掃き・吸い込みなどで床清掃を行う業務用清掃ロボット、自動開閉引き出しボックスを搭載した配送ロボット、レストランなどで料理を運ぶ配膳ロボットの3つのタイプがある。用途はさまざまだが、フロア間を移動しながら広範囲で活動できるため、ホテル、ゴルフ場、大型複合施設、さまざまな施設で導入が進んでいる。縦横無尽にロボットが動きまわるため、安全面を懸念する人もいるだろう。だが、同社のロボットには人やモノを検知するセンサーが搭載されており、障害物を回避しながら安全かつ最適なルートを選ばせてくれる。さらに「恐れ入りますが道をあけていただけますでしょうか」「エレベーターに乗ります」など、音声で発音することで人とコミュニケーションを取り、人との共存を実現しているのである。

そしてサービスの質という面からロボット導入にネガティブな反応を示す人も少なくないが、実はロボットによる接客がプラスに働くこともある。配送ロボットを用いて客室にアメニティを届けているホテルでは、子供を中心にロボットによる接客を喜びが多く寄せられ、人手不足を解消する以上に大きなメリットがあったそうだ。人によるおもてなしだけがサービスだという考えは、もう時代遅れなのかもしれない。消費者が求めるものも多様化しており、人ありきではない新しいおもてなしの形が生まれつつあるようだ。

同社はロボットの販売から保守サービスまでをワンストップで提供しており、エレベーター連携ロボット以外にも接客を得意とするコミュニケーションロボットなど、さまざまなDX商材・サービスを提供している。ロボットが担うのは裏側の仕事だけではない。同社が提供するサービスによって、これからますますロボット雇用が加速していくだろう。

いよいよ始まるロボット雇用の時代

3タイプのエレベーター連携ロボット

